MDHCだより

NO. ８９
R２. １. ２９
三河歯科衛生専門学校

２０２０年のスタート

教務部長　前田順子

日頃より臨床実習指導者の皆様にはご指導・ご協力をいただき、心より感謝いたします。現在、臨地・臨床実習は２１施設の病院・歯科医院と９施設の保健・福祉施設等にお引受けいただいております。臨地・臨床実習での経験は、本人がこれから歯科衛生士を仕事としてやっていく土台となります。学生の特権ともいえる、様々な現場をみることが出来るこの期間を大切にし、視野を広げてほしいと考えています。

さて、新年が明け、学校ではそれぞれの教室から毎日賑やかな声が聞こえてきます。３年生は国家試験対策が最も大事な時期に入りました。昔と比べ国家試験出題範囲も広がり、受験勉強もなかなか大変です。毎日１１０問テストを行いますが、その姿は真剣そのもの。模擬試験も含め、最終的に１０，６９５問の問題にあたっていきます。ピンと張り詰めた空気が教室にあります。

２年生は臨床実習２期がスタートました。毎週木・金は学校に来ますが、賑やかさは一番です。反面、他の曜日の教室はがらんとしていて、４０ある机それぞれの持ち主が現場に立ち、頑張っていることと思いを巡らせています。

１年生は学校にも慣れ、２月からは総まとめに入っていきます。来年の今頃は臨床実習に出ているということを意識し、常日頃の学習を怠らないようにしてほしいと願っています。

２０２０年は東京でのオリンピックがあり、特別な一年になると思います。本校もそのパワーに負けないよう、社会に貢献できる歯科衛生士の養成に精一杯努力していきたいと思います。

指導者の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

１　第１期臨床実習から

臨床実習のまとめを１２月１９日に行いました。１期の自己評価を行い、学んだこと、反省点を振り返り今後の課題を見つけました。結果は以下の通りです。

１）自己評価

「基本的事項に関する評価」

①「社会人としての基本姿勢」（報告・連絡・相談をする）は、「よくできた」27.5%、「できた」52.5%、「あと少し」17.5%でした。学生には迅速な報告、わからないとこは自己だけで判断せず指示を仰ぐ、確認することを徹底させたいと思います。

②「患者理解」（相手の立場に立ち配慮するなど）は、「よくできた」50.0%、「できた」32.5%、「あと少し」17.5%、「できなかった」0%でした。

③「学習姿勢」（同じ種類の失敗を繰り返さないように行動する）は、「よくできた」7.5%、「できた」52.5%、「あと少し」35.0%、「できなかった」5.0%でした。4 割はまだ至らないと評価しました。問題点をしっかり考え反省し、次に繋がる行動にしてほしいです。

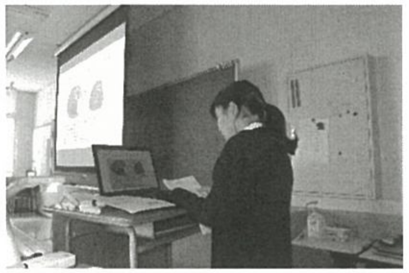
「実習帳に関する評価」（実習内容に沿って要点をまとめて書くなど）は、「よくできた」20.0%、「できた」50.0%、「あと少し」30.0%、「できなかった」0%でした。まだまだ改善が必要な学生もいます。振り返りの学習に繋がる実習ノート作成にしてほしいと思います。

「歯科診療補助に関する評価」（確実な診療補助・流れの理解など）は、「よくできた」19.8%、「できた」38.1%、「あと少し」34.4%、「できなかった」5.2%、「実習していない」2.5%でした。術式の理解が不十分であったり、器具の準備、適確なバキューム操作、患者対応に自信がない評価結果となりました。今後、実習が進む中で、状況に応じた対応に自信がついてくることを期待したいです。

２）今後の目標

『なぜ、この処置をしているのか。次の治療は何をするのか。先生の動きを見ながら、先読みし行動したい。』など考え行動し、応用力を身に付けたいという意欲的な発言が多くありました。一つ一つの行動の意味を考え、積極的な姿勢で実習に臨んでもらいたいです。

２　第１期臨床実習報告会



毎週木曜日 6 回に分けて、学生が実習先で学んだことの報告会を行っていきます。興味を持った内容を、各自が教科書・文献・インターネット等で調べまとめて発表します。それぞれの学びをクラスで共有するという目的もあります。相手に伝わるように工夫した内容に出来上がっていました。

３　主な行事予定

・第２期臨床実習	1/14(火)～3/18(水)
・国家試験	3/ 1(日)
・卒業式	3/ 5(木)